



ごあいさつ 東北農政局長 前島 明成

日ごろから建設業関係者の皆さま方には、農林水産行政とりわけ農業農村整備事業の推進に多大なるご理解とご協力をたまわるとともに、農業と農村の持続的発展にご貢献いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

はじめに、東北管内では、昨年の福島沖地震や7月、8月の豪雨災害に加え、本年も秋田県をはじめ各地で豪雨による甚大な被害に見舞われました。被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、迅速な災害対応に当たられました建設業関係者の皆さま方に重ねて御礼申し上げます。

さて、農林水産省では、世界の食料供給の不安定化や急速な人口減少などの厳しい環境変化の中で、食料安全保障の確立、持続可能な農業・食品産業への転換、強固な食料供給基盤の確立といった観点から、「食料・農業・農村基本法」の見直しについて検討を進めています。

また、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」については、目標の実現に向けて、調達から生産、加工・流通、消費における関係者の意欲的な取り組みを引き出すとともに、革新的な技術・生産体系の開発と社会実装に取り組んでまいります。

さらに、担い手への農地集積に向けた農地整備を進めるとともに、近年の頻発化・激甚化する豪雨や大地震の発生に備え、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、ため池の防災工事を継続して進めることとしています。

加えて、流域全体のあらゆる関係者の協働による流域治水については、本年8月に行われた鳴瀬川水系吉田川等・高城川水系高城川等の特定都市河川指定による「流域水害対策の推進に向けた確認書調印式」に私も出席して署名を行ったところであり、各流域における農業側の取り組みをさまざまな事業制度により支援してまいります。

建設業界では、担い手確保のための働き方改革として、建設現場の環境整備の推進、ICTをはじめとした新技術の導入等を積極的に推進されており、来年4月から時間外労働の上限規制が適用されます。東北農政局といたしましては、国営事業工事の早期発注や余裕期間の設定等による適正な工期確保などの取り組みを推進しつつ、皆さま方とともに東北地方の農業・農村を支える農村インフラの維持・発展に向けて取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

東北農政局主要事業特集 川村文洋 農村振興部長に聞く



稔り豊かな東北目指し、排水機能を強化

現在、管内で25地区の国営事業を実施している東北農政局農村振興部。その多くは農業用水を確保し農地に送水する「かんがい」および農地からの「排水」を行う「かんがい排水事業」だ。近年、全国各地で豪雨災害が激甚化、頻発化する中、農地のみならず周辺地域の排水にも寄与している排水事業を中心に川村文洋農村振興部長に整備の現状を伺った。

最上川下流左岸地区

管内の国営事業のうち、排水事業で本年度工事量が多いのが山形県の最上川下流左岸地区。総事業費は161億円、工期は17年度から29年度を予定している。最上川と京田川に挟まれた区域を対象に、受益面積は鶴岡市111ha、酒田市775ha、庄内町5,035haの計5,921ha。事業は排水機場が県営



▲最上川下流左岸地区 大和排水機場

事業として整備した5カ所の改修と新設1カ所の計6カ所および排水路5.6kmを整備する。京田川への排水負荷が高く、湛水被害の発生状況を踏まえ、排水系統の変更(再編)を行うほか、ポンプ能力を1.9倍にし、受益農地の湛水被害を防止する。毒蛇排水機場、中央排水機場は完成し稼働済み。植管や吐水槽は現状のまま使用するなど、極力コスト削減を図る。本年度は18億

円の予算を確保し、大和排水機場のポンプ製作・除塵機の据え付け工事、建物の建設工事を進めているほか、西野排水機場で土木工事を行っている。22年度末の進捗率は46.2%。

横手西部地区

秋田県の横手西部地区は排水路の整備が中心となる。受益面積は横手市9,086ha、大仙市16haの計9,102haで12年度から事業着手し、現時点で総事業費は340億円。主要工事は延長48.2kmの排水路整備。既設の護岸等が老朽化したことから更新・整備を



▲横手西部 石持川幹線排水路(その11)工事

行う。事業進捗は22年度までで90.2%。本年度は用水機能と排水機能を併せ持つ石持川幹線排水路(その11)工事、皆瀬3号幹線用水路(その14)工事等を実施している。



▲横手西部 仮返し水路共用後、水路部掘削状況(R5年度施工範囲)

主要工事計画

■ 国営かんがい排水事業 最上川下流左岸地区 主要工事計画(排水機)

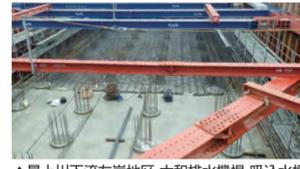
名称	排水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		排水機		原動機			備考	
		全揚程	実揚程	形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 (kw)		台数
毒蛇排水機場	12.900	5.2	3.6	横軸斜流	1,200	4	発電機	231	4	改修
大和排水機場	12.200	4.8	3.9	立軸斜流	1,000	4	発電機	312	4	改修
二段割排水機場	2.900	2.2	1.4	横軸水中軸流	800	2	発電機	234	1	改修
中央排水機場	11.200	3.8	2.6	横軸斜流	1,200	4	発電機	151	4	改修
西野排水機場	8.800	3.4	2.1	横軸斜流	1,200	3	発電機	142	3	改修
生田排水機場	6.400	3.2	2.2	横軸斜流	1,000	3	発電機	110	3	新設

■ 国営かんがい排水事業 横手西部地区 主要工事計画

施設名	受益面積 (ha)	計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)
吉田幹線排水路	1,871	102.91	9.7
油川幹線排水路	2,033	53.1	11.1
大宮川幹線排水路	2,666	50.72	7.7
石持川幹線排水路	1,295	30.12	6.9
五郎兵衛排水路	1,537	31.75	4.2
皆瀬1号幹線用水路	565	43.95	3.3
皆瀬3号幹線用水路	806	25.95	3.8
皆瀬4号幹線用水路	657	11.36	1.5

■ 国営かんがい排水事業 角田地区 主要工事計画

改修箇所	改修工事内容
ポンプ設備	主ポンプ、原動機、補機類、電気設備 改修
吸込水槽	導流工、トランジション、吸込水槽、吐出口 改修、耐震化対策
建屋	壁、屋根 改修、耐震化対策
付帯設備	水文、除塵機 改修、耐震化対策



▲最上川下流左岸地区 大和排水機場 吸込水槽



▲最上川下流左岸地区 大和排水機場 吸込水槽流入部 壁型枠組立



▲最上川下流左岸地区 中央排水路(新渡)【排水路新設】

角田地区

角田地区は、宮城県南部の阿武隈川下流左岸に位置し、角田市と丸森町にまたがる低平地農業地帯。豪雨時は阿武隈川の水位が上昇するため、その河川水が地区内に流入しないよう堤防と江尻閘門により防いだきたが、内水排除ができないため湛水被害が頻発に発生している。昭和初期に宮城県営角田農業水利事業として排水施設を整備した。近年、電気設備の老朽化によ

ター3台、Q=18.35m³/s)と江尻第1排水機場(φ900・1台、90kwモーター1台、Q=1.67m³/s)および江尻第2排水機場(φ1,320・3台、350HPディーゼル3台、Q=13.35m³/s)を建設した。昭和50年代(1975年～)に入り、江尻第1・第2排水機場の老朽化による排水能力の低下と排水路の通水不足により湛水被害が生じる状態であったことから、1984年度から95年度にわたり国営角田農業水利事業として排水施設を整備した。近年、電気設備の老朽化によ

農業生産性の向上と
農業経営の安定のため尽力いたします。

まじめに、まっすぐ
KONOIKE
株式会社 鴻池組東北支店
支店長代理 谷村 泰裕
仙台市青葉区中央2-9-27
TEL.022(266)1275 FAX.022(281)8661

ふるさとの復興を応援します
三幸建設工業株式会社
豊かさへの力でありたい。
東北支店長 平林 学
仙台市泉区泉中央1-33-7 TEL.022(779)5625
http://www.sanko-const.com/

大成建設株式会社
TAISEI
For a Lively World
常務執行役員東北支店長 西岡 巖
仙台市青葉区一番町3-1-1 TEL.022(225)7748

人と地球の架け橋に
竹中土木
執行役員東北支店長 坂本 欽司
仙台市青葉区国分町3丁目4-33
TEL.022(221)7681

徳倉建設株式会社
TOKURA
東北支店
支店長 荒川 精一郎
〒980-0803 仙台市青葉区国分町一丁目8-14
TEL.022(265)7156 FAX.022(224)3719

HOKUYO 株式会社 北陽
東北支店
支店長 鷲谷 秀隆
〒980-0803
仙台市青葉区国分町3丁目11-9 アルファオフィビル605号
TEL.022(217)5586 FAX.022(721)5130

Iwate Construction Industrial Corporation
代表取締役 八重樫 博之
ISO 9001 認証
岩手建設工業株式会社
〒024-0012 岩手県北上市常盤台2丁目9-4
TEL.0197(65)1616 FAX.0197(65)1617
URL:https://iwt-k.co.jp

株式会社 佐藤建設
代表取締役社長 佐藤 孝司
本社/岩手県岩手郡岩手町沼宮内9-11-3
TEL.0195(62)2305 FAX.0195(62)3059
https://satou-kensetsu.co.jp
滝沢出張所/岩手県滝沢市中村55-5
TEL.019(658)8303 FAX.019(658)8305

人と地球の限りない未来へ
トンネル工事・土木工事一式
梨子建設株式会社
NASHIKENSETSU
代表取締役 梨子 洋和
本社/岩手県盛岡市高松4丁目20-20
TEL.019(661)2411 FAX.019(661)1231
https://nashi-const.jp

自然は…いのちがむつ
菅睦建設株式会社
代表取締役 安藤 政則
本社/山形県鶴岡市中橋127
TEL.0235(33)3365 FAX.0235(33)3366

和の心で幸せを届け!!
十和建设株式会社
代表取締役社長 今野 勉
本社/ 鶴岡市伊勢原町25-2 TEL.0235-23-1282
庄内町支店/ 庄内町余目字土堤下38-1 TEL.0234-43-3781
http://towagp.com

水害対策計画策定へ協議会発足 吉田川、高城川流域市町村など 特定都市河川指定受け調印

宮城県の吉田川、高城川等が東北で初めて特定都市河川・特定都市河川流域に指定されたことを受け、8月10日に仙台市の東北地方整備局で関係機関による「流域水害対策の推進に向けた確認書調印式」と「流域水害対策協議会発足式」が行われた。自然災害が激甚化・頻発化する中、関係者一丸で対策を推進していく方針を確認したほか、流域治水などで河川流域を「みず」から守り、水害に強い地域にしていくための計画策定へ協議を開始した。

当日は、流域関係市町村（仙台市、東松島市、大崎市、富谷市、松島町、利府町、大和町、大郷町、大衡村、色麻町）と宮城県、東北農政局、東北整備局の代表者らが出席。それぞれが「特定都市河川」の枠組み活用により治水対策の加速化と共に流出抑制対策を強化するなど、関係者が連携した流域治水のさらなる取り組みにより水害対策を推進していくことなどが記された確認書に調印した。

加えて、流域治水の実効性を高め、あらゆる関係者の共同による水害に強い地域づくり実践に向けた「流域水害対策計画」策定へ、吉田川・高城川流域水害対策協議会（座長・東北整備局長）を発足し、同日に発足会を開いた。

発足会の最後には、東北農政局前島局長が代表者あいさつとして「特定都市河川流域における初めての国営総合農地防災事業『吉田川流域地区』の検討を東北地方整備局と連携しながら進めており、全国の流域治水のモデル地区となるよう努めていきたい」と述べた。



▲角田地区 江尻排水機場

り可動翼が正常に動作せず、主ポンプが緊急停止する不測の事態が発生しているほか、施設の老朽化による耐震性能不足が確認されたため、2019年度から国営施設応急対策事業として同施設の老朽化対策と耐震対策を併せて実施している。受益面積は2,737haで、本年度事業費は昨年度補正と併せて7億円。江尻排水機場ポンプ設備の製作工事と4号給水槽耐震補強を

行っている。総事業費は59億円で、22年度までの進捗率は24.4%。26年度までの事業完了を予定している。



▲角田地区 江尻排水機場 第1制水門ゲート（施工後・下流側）

流域治水への貢献

激甚化する豪雨に対し、流域のあらゆる関係者が協働し水災害対策を進めていく流域治水の考え方が普及している。そのような中、農地の排水事業への期待が高まっていると認識している。特に東北地方では、令和元年台

風19号による宮城県吉田川流域や阿武隈川流域の角田市・丸森町で大きな農地被害が発生。吉田川流域では、農地排水の強化に向けた国営事業化について地域から要望もあり、本年度から国営地区調査に着手した。本年8月の吉田川等・高城川等特定都市河川指定に係る確認書調印式に対して東北農政局長が参画・署名し、流域治水への協力を表明した。東北農政局として排水事業の推進のほか、各県などの関係機関と連携した「田んぼダム」の普及をはじめ、各種取り組みを通じて流域治水に取り組んでいく。角田丸森地区でも、来年度からの国営地区調査予算を概算要求している。このほか、流域治水への貢献として、管内の農業用ダム88基の治水協定を締結し、豪雨等の事前放流等による洪水調節容量の確保に寄与する。

建設業の働き方改革

来年度から建設業関係者にも適用される時間外労働上限規制に対し、工事実施主体の国営事業所に対して工事の早期発注と、余裕期間設定による余裕を持った工事工期の確保、および不測の事態の発生に対して週休2日の達成に向けた工夫や、工期延長等の検討を行うよう周知している。特に東北地方は冬期の施工条件が厳しく、早期発注と適切な工期確保は重要。8月までの本局契約土木工事22件のうち、21件で余裕工期を設定した。建設業の働き方改革の各種取り組みに応えられるよう取り組んでいく。



▲角田地区 江尻排水機場

現場ルポ 岩手山麓農業水利事業 第二発電所水槽管理用道路その他工事 昭栄建設

ICT活用による作業の省力化、効率化で時間短縮へ

本工事は岩手山麓農業水利事業計画に基づき、岩手湖からの取水施設維持管理を目的に盛岡市門前寺地内において第二発電所水槽管理用道路を整備するものです。



▲切土掘削ICT活用

路線延長は1,088m、道路幅員は4mで、施工終結部に今回施工対象の水槽補修施設があり、土工、擁壁、仮設工事の工事用道路と法面、舗装、路面排水路工事の管理用道路の工事と大きく2つに分類されます。

曲線部が26カ所と多く、土工切土掘削工事ではICTを活用して丁張設置作業の省略化し、掘削作業の効率化を実現しつつ工期短縮につなげています。



▲来年度補修施工を行う水槽

山間地域に道路を構築するに当たり、作業範囲も狭く重機と作業員の接触事故も懸念される恐れがあります。そのため、複数で合図することがないよう、合図誘導員を選任し作業者が重機作業範囲内に立ち入る場合は、必ず合図誘導者からオペレーターに合図を行うように安全管理を徹底し事故防止対策には努めているところです。また、土工作業は、降雨による影響を受けやすく、地山の状況、点検を確実に行うとともに最新の気象状況を確認しながら安全確保と品質管理にも徹底しながら工事を進めています。

来年度には、取水停止期間の水槽補修工事や関連工事との調整も含めて、これからの発注者と打合せを密に図りながら随所に提案や工夫を取り入れ、無事故での完成を目指してまいります。



▲現場代理人 山口 裕司

「つくる」を「つづける」

昭栄建設株式会社

代表取締役社長 武田 克彦

http://www.shoei-kk.co.jp/
〒020-0125 盛岡市上堂四丁目11番8号
TEL.019(647)2222 FAX.019(643)8308

現場ルポ 河南二期農業水利事業 広瀨沼機場建設工事 西松建設

計画段階で危険・有害性を除去、全工期無災害目指す

河南二期農業水利事業の一環として石巻市広瀨に整備する広瀨沼機場建設工事は、既存の県営広瀨排水機場（1964年完成）と国営柏木場水機場（81年完成）の機能を統合し、新たに広瀨沼機場を建設する工事です。新設機場の地下部分および建築上



▲高圧線近接作業

屋を構築したのち、関連工事であるポンプ設備据付工事および除塵設備据付工事と工程調整を図りながら工事を進め、その後、新設ポンプを一部稼働させたのち、新設機場へ排水路を切戻してから、既存2機場の解体工事をを行います。

工事現場の直近に東北電力の高圧線が走っており、架空線直下での作業や高圧鉄塔に近接しての掘削作業が発生するため、架空線直下作業の安全対策や鉄塔基礎の変位の観測方法等を



▲現場（10月25日現在）

幸い人的被害はなく、機械的被害も最小限でしたが、今後、地下部分の工事が本格化するため、事前のリスク評価による対策の実施、緊急時の避難ルートの確立と周知、気象情報の情報収集と展開を行い、安全に作業を進めていきます。また、計画段階における危険性または有害性の除去や低減を図ること、危険源から人を分離する対策を検討し、実践することで安全作業に努めます。

作業場所はさほど広くはありませんが、土木構造物・建築上屋の構築から既設構造物の解体までと、工種が多岐にわたり、管理項目も多くなるため、職員・作業員が一丸となり安全作業で全工期無災害を目指します。さらに発注者や関連工事との連絡調整を密に行い、計画の不備や手戻りによる工程の遅延をなくし、早期完成を目指します。



▲現場代理人 倉地 俊明

未来を創る現場力

西松建設

北日本支社

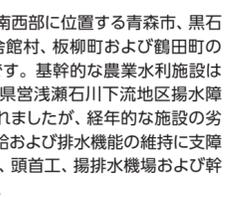
執行役員支社長 濱崎 伸介

〒980-6090 仙台市青葉区中央4丁目6-1 SS30ホテル棟B1F
TEL.022(261)8161(代) HP https://www.nishimatsu.co.jp/

現場ルポ 浅瀬石川二期農業水利事業 中泉幹線排水路(その1)工事 アイサワ工業

限られた施工期間、ICT建機活用で安全確保

浅瀬石川二期地区は、青森県南西部に位置する青森市、黒石市、五所川原市、藤崎町、田舎館村、板柳町および鶴田町の7,839haの農業地帯が対象です。基幹的な農業水利施設は国営浅瀬石川土地改良事業、県営浅瀬石川下流地区揚水障害対策事業などにより造成されましたが、経年的な施設の劣化が進み、農業用水の安定供給および排水機能の維持に支障を来していることから、ダム、頭首工、揚排水機場および幹線用排水路の整備を行います。



▲完成予想図

このうち、中泉幹線排水路は、地区下流の北西部を流れる全長4.7kmの排水路です。構築後40年が経過し、老朽化により軽鋼鉄板のサビなどによる欠損などが生じていることから改修するもので、施工中のその1工事の水路延長は165.9mとなっています。構造的には珍しいコンクリート矢板と笠コンクリート造による排水路です。

施工時期は、田んぼの落水する8月から始まり、用水を使用する3月末までの限られた期間となります。施工に当たっては、法面整形にICTバックホウを活用し、作業員との混在作業をなくすことで、安全を確保します。また、クレーン作業や玉掛け作業の安全管理を徹底するため、合図者を専任し、無線と手合図を併用して工事を進めています。

青森県南西部の津軽地方の冬期気象は、10m先も見えない吹雪地帯であることは知られています。これから気象条件が厳しい時期となりますが、職員、協力会社一丸となって、無事故、無災害で工事を完成させます。



▲現場代理人 阿部 武彦



▲完成予想図



▲施工箇所全景

現場ルポ 八郎潟農業水利事業 F2幹線用水路(その1)工事 アイサワ工業

冬期のコンクリート施工、品質管理に万全期す

本工事は、八郎潟土地改良事業計画に基づき、F2幹線用水路を改修するものです。本地区は、秋田県の西側ほぼ中央部の大湯村に位置する11,733haの農業地帯で、水稲を中心に、水田の畑利用による大豆、野菜等を組み合わせた農業経営が行われています。国営八郎潟干拓事業（1957年度～76年度）等により整備された農業水利施設が経年劣化しているため、改修を行い、農業用水の安定供給、排水機能の維持や水質保全機能の増進を目的とする事業です。



▲既設開水路

今回の工事は、既設の開水路をφ1,500のパイプラインに改修するものであり、取水槽というコンクリート構造物の構築が、取水槽は延長18m、幅7m、高さ7mと大型であり、基礎工として既製コンクリート杭（φ600、L=37m）を施工します。大型機械での施工となるため、重機足場を整備し、慎重な施工が求められます。またコンクリート施工が冬期となるので、仮囲い設置や養生方法など工夫を凝らし、品質管理に留意した施工を行います。



▲現場全景（鋼鉄板打設状況）

冬期間は寒風山から吹きおろしてくる強風が厳しい地域なので、特にクレーン災害の防止に気を配って施工します。1月～2月の極寒時期が工事最盛期となりますが、災害防止活動に努めて、無事故無災害での工事完成を目指します。



▲現場代理人 田中 健之

未来へ続く街づくり

アイサワ工業株式会社

東北支店

支店長 三浦 武彦

東北支店/仙台市青葉区本町三丁目5番22号
TEL.022(263)3666